



MGU Chapel Letter

—第 40 号 2024 年 8 月 7 日— 発行：大学宗教センター



* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



前期の大学礼拝は 7 月 22 日で終わりました。

後期の礼拝は、9 月 20 日（金）から始

まります。1 月 15 日（水）まで合計 34

回の予定です。ぜひご出席下さい。



猛暑だ！ 気をつけよう！！

異例の暑さです。熱中症に注意して水分をこまめに取りましょ
う。睡眠時間を確保し、朝食をしっかりとることも予防になります。

聖書にも、「熱中症では？」と思われる話があります（列王記下 4 章 18～
20 章）。暑さの危険を知っていた古代イスラエルの人々は、神の愛のこ
とを「あなたを覆う陰」（詩編 121 編 5 節）と呼んでいました。直射日光から
守ってくれる木蔭にたとえているのですね。なにげに味のある表現です。

✦ 平和を実現する人 ✦



聖書には、平和に関する言葉がいくつもあります。中でもよく知られているものは、イエスの「山上の説教」に登場する「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」（マタイによる福音書 5 章 9 節）でしょう。

平和を作り出す行為が素晴らしいことは、言うまでもないですね。しかしながら、ウクライナやガザから流れて来る悲惨なニュースを聞いている私たちは、この言葉を聞いても、「しょせん、全ては権力ある者が決めているだけじゃないか。自分には何も変えられない」と思ってしまうのではないのでしょうか。

日本ではあまり知られていませんが、渦中のロシアでも少なからぬ人々が戦争に反対し、可能なアクションを取り続けています。ウクライナ侵攻が始まった当初、ロシアでは各地で反戦デモが繰り広げられ、1万5千人が拘束されました。政府がこうした動きに厳罰をもって臨むようになると、人々は、「戦争反対」を意味する緑のリボンを街角にひそかに結んだり、紙幣に反戦メッセージを書いて流通させるなどの行動に出ました（紙幣であれば、誰が書いたか分からないまま人の目に触れて行くからです）。ネットを通じて外国の人々と連絡を取り合い、戦争に関する正確な情報を集めている市民もいます。どれも、逮捕されるリスクを承知の上でのことです。

最近、「プーチン・ダモイ（家への道）」というロシアの女性団体の活動が話題になり、NHKでも報道されました。これは夫や恋人を戦場に動員された女性たちのグループであり、一刻も早く戦闘をやめて彼らを家族のもとに帰すよう、あらゆるかたちで社会に訴えています。ロシア政府がこうした活動を抑えつこうと躍起になっているのは、市民たちのアクションが持つ影響力を恐れているからでしょう。小さな行動であっても、権力者が不安になるような大きな力を持っているのです。

戦争の嵐が吹き荒れている国の中でも、平和を作り出すために命がけで行動している人たち、希望を捨てずに歩み続ける人々がいます。終戦の日を控えた今、私たちも自分に何ができるかを深く考え、行動する道を探って行きたいです。（栗）

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp